資料３－２別紙

技能検定のイメージについて

以下のとおり、アカデミーで導入する各種機器を活用した技能検定基準を設け、研修生の習得度を判定する。
具体的な基準及び判定手法等については、機器の性能や難易度等を見極め、今年度中に構築作業を進めることとしたい。

○（例）先端林業技術「ハーベスタシミュレーター」技能検定表

シナリオ	技能検定基準	研修生																
		○○　○○		△△　△△														
基本グリッピング	１：10回成功（時間制限なし）	○月○日	確認者	△月△日	確認者													
	２：10回成功（15分以内）			◇月◇日	確認者													
	３：10回成功（10分以内）																	
高度なグリッピング																		
基礎の伐倒																		
作業道造材（平坦地）																		
作業道造材（斜面）																		

○（例）各種練習機器を活用した伐木・造材技能検定表

訓練機器	習得度判定基準	研修生																
		○○　○○		△△　△△														
伐倒練習機	１：正確な受口	○月○日	確認者	△月△日	確認者													
	２：正確な追い口、ツル			◇月◇日	確認者													
	２：正確な伐倒方向(目標に対し5°以内)																	
	２：正確な伐倒方向(目標に対し2°以内)																	